

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和元年度
------	-------

施設名	市民図書館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	社会教育系施設	中分類	図書館	施設番号	18
-----	---------	-----	-----	------	----

所管部局	文化創造課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 鶴見町1丁目70番地1	敷地面積	9,210 ㎡
	(新川小学校区)	うち借地面積	2,743 ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	市民図書館				
複合・併設施設	芸術文化ホール				
建築年度	平成5年度	経過年数	26年	総取得費	3,769,790千円
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	4,327 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	1階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	181,791人	167,391人	166,735人	171,972人	指定管理(管理料)		
施設コスト※2 (H28~30年度) (ファシリティコスト)	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)	
	収 入	利用料等	-	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	37,198,351
		国 費	-		修繕料	2,534,213	
		県 費	-		火災保険料	95,048	
		その他	140,260		維持管理委託料	23,257,258	
		市費(一般財源)	144,984,762		敷地借上料	5,155,191	
	合 計		145,125,022	工事請負費	8,027,830		
	施設外観			小 計		76,267,891	
	①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費			②運営コスト		人件費(賃金含)	37,035,758
	+ ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費			光熱水費		13,069,905	
			その他委託料		3,249,632		
			その他運営費(事業費)		15,501,836		
			小 計		68,857,131		
			合 計(①+②)		145,125,022		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	844 円/人		33,539 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
		- 円/人		1,983 円/人			
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

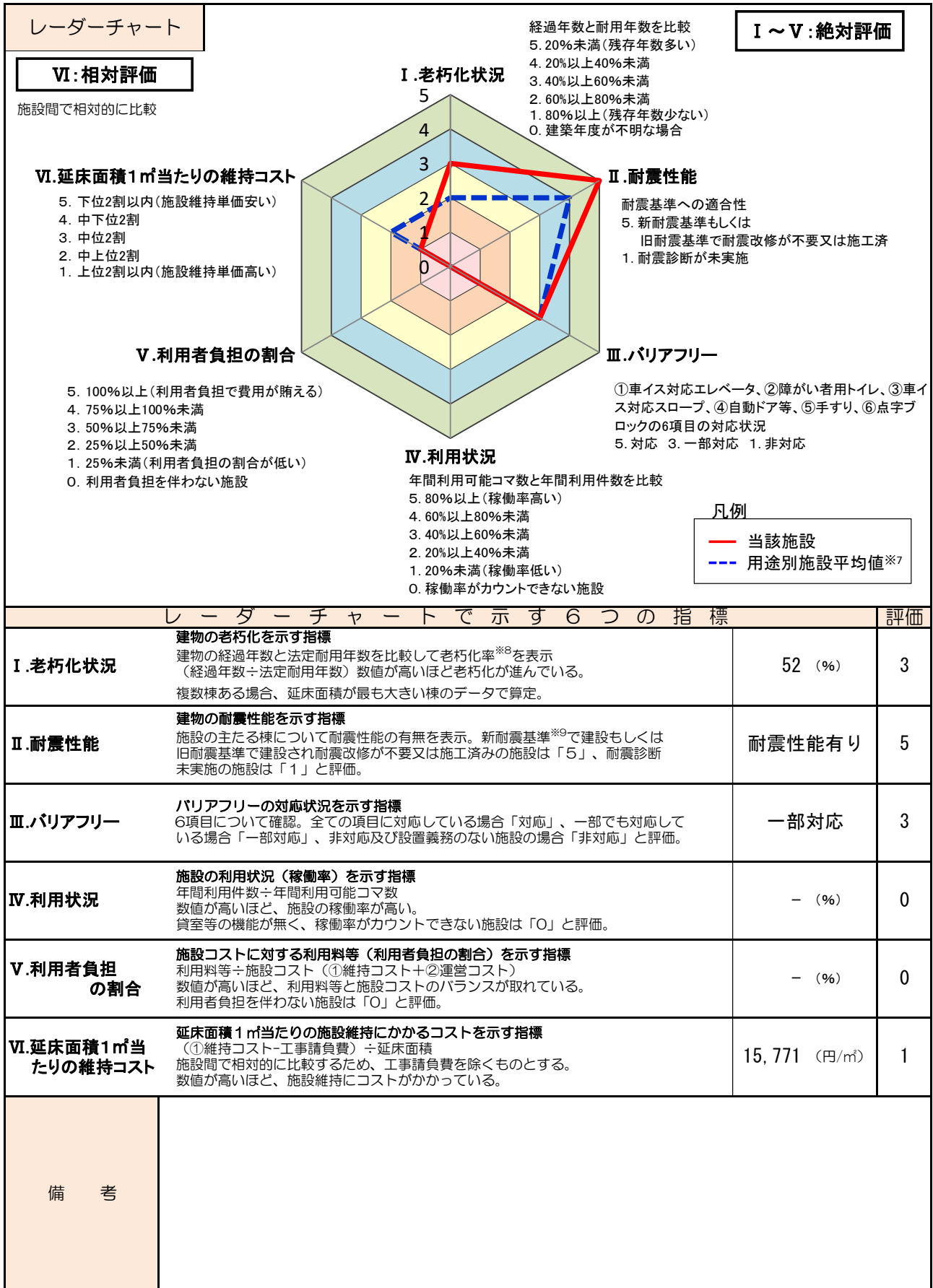
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成31年4月1日現在の73,104人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和元年度
------	-------

施設名	市民図書館中部分館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	社会教育系施設	中分類	図書館	施設番号	19
-----	---------	-----	-----	------	----

所管部局	文化創造課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 源氏神明町2番地 (中央小学校区)	敷地面積	文化会館敷地内 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	市民図書館中部分館、自転車置場、物置				
複合・併設施設	市史資料調査室				
建築年度	昭和44～平成7年度	経過年数	24～50年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,203 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態		
	55,693 人	53,805 人	51,636 人	53,711 人	直営		
施設コスト※2 (H28～30年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)	
	収 入	利用料等	-	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	3,703,576
		国 費	-		修繕料	1,805,363	
		県 費	-		火災保険料	5,214	
		その他	36,102		維持管理委託料	1,940,993	
		市費(一般財源)	30,750,214		敷地借上料	-	
	合 計		30,786,316	工事請負費	-	その他維持費	-
	施設外観				小 計	7,455,146	
					②運営コスト	人件費(賃金含)	18,231,708
					光熱水費	1,655,642	
				その他委託料	109,440		
				その他運営費(事業費)	3,334,380		
				小 計	23,331,170		
				合 計(①+②)	30,786,316		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4				
	573 円/人		25,591 円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
		- 円/人		421 円/人			
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

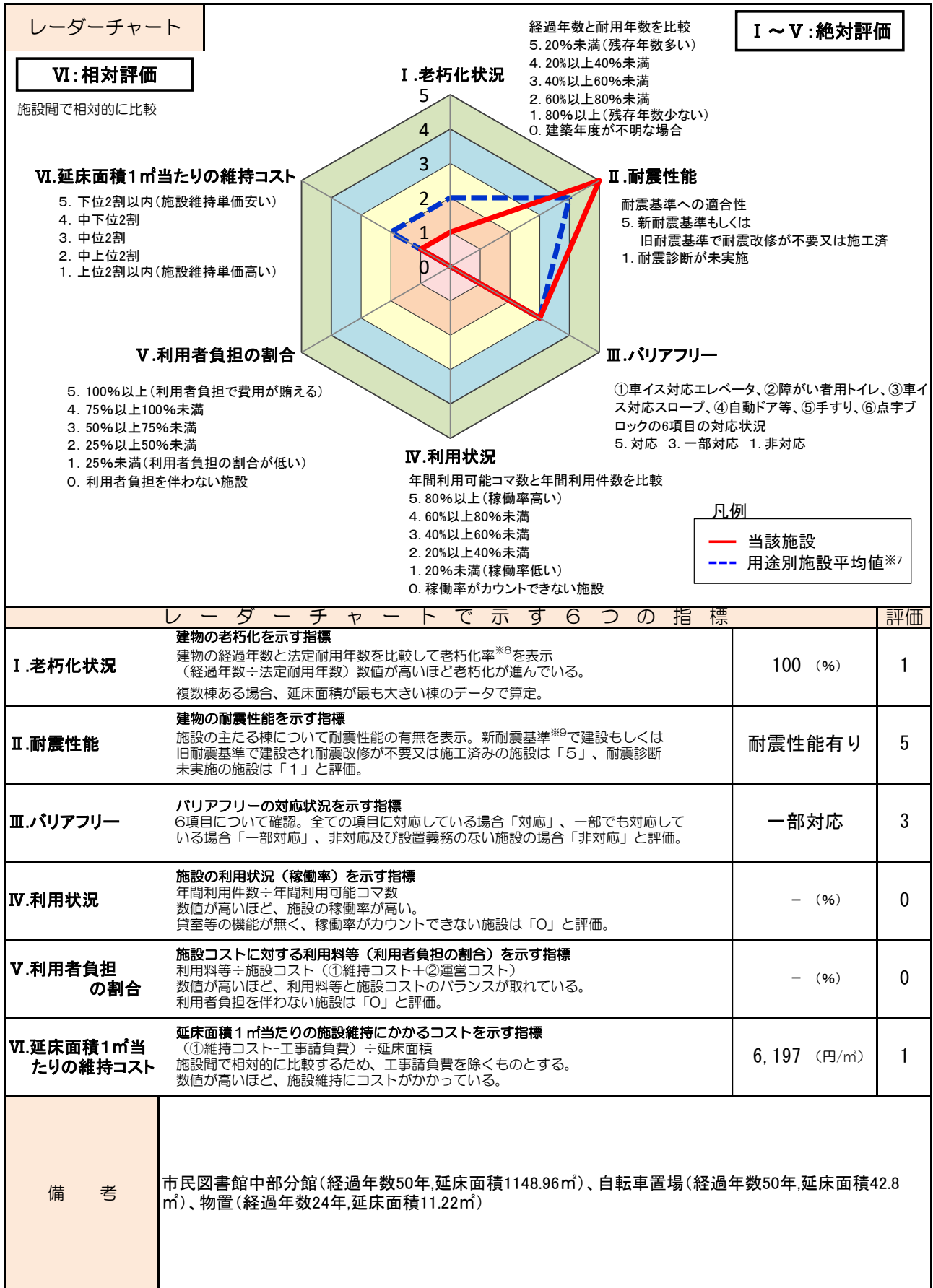
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成31年4月1日現在の73,104人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和元年度
------	-------

施設名	市民図書館南部分館		
従たる施設の場合、主たる施設名	南部市民プラザ		

大分類	社会教育系施設	中分類	図書館	施設番号	20
-----	---------	-----	-----	------	----

所管部局	文化創造課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 塩浜町7丁目135番地	敷地面積	- m ²
	(大浜小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	市民図書館南部分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成3年度	経過年数	28年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	486 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H28年度		H29年度		H30年度		平均利用者数	管理形態	
	55,607 人		53,123 人		52,916 人		53,882 人	直営	
施設コスト ※2 (H28~30年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等			-	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	1,481,430
		国 費			-		修繕料	178,129	
		県 費			-		火災保険料	4,519	
		その他			21,286		維持管理委託料	1,385,838	
		市費(一般財源)			19,323,531		敷地借上料	459,080	
	合 計		19,344,817		工事請負費		100,800	その他維持費	-
	施設外観				小 計		3,609,796		
					②運営コスト		人件費(賃金含)	11,366,868	
					光熱水費		941,844		
				その他委託料			23,777		
				その他運営費(事業費)		3,402,532			
				小 計		15,735,021			
				合 計(①+②)		19,344,817			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3			延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4					
	359 円/人			39,804 円/m ²					
	利用者1人当たりの負担額※5			市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
- 円/人			264 円/人						
特記事項									

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

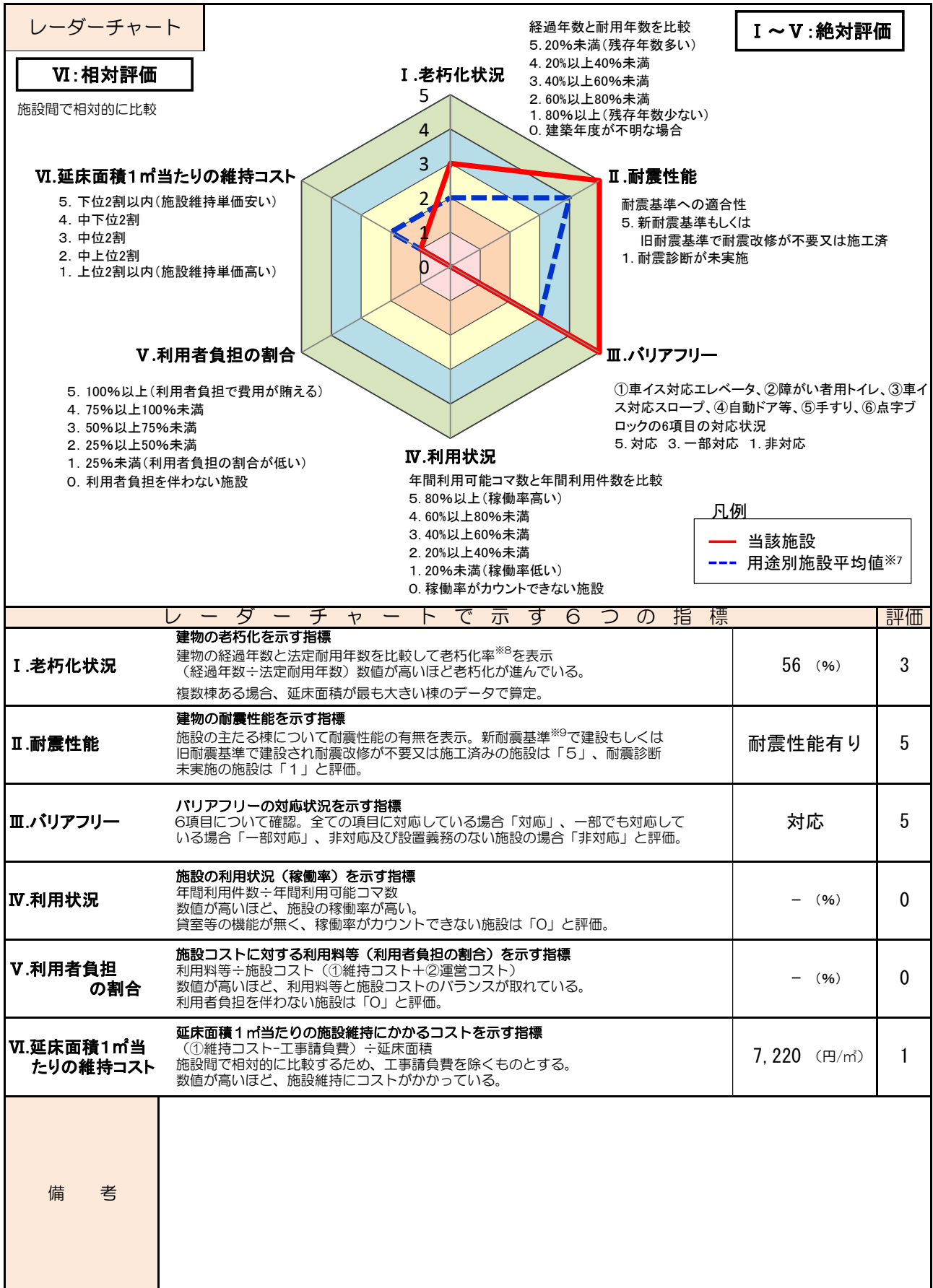
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(平成31年4月1日現在の73,104人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。